

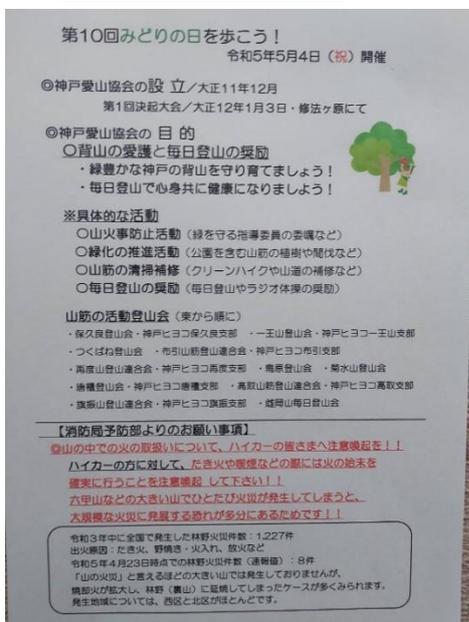
〇5月4日(祝)開催 第3226回例会
 神戸愛山協会主催行事同調
 「第10回みどりの日を歩こう！」

須磨浦公園から須磨離宮公園へ

愛山協会 会長 吉野 宏

写真提供 ヒヨコ登山会の皆様

大正11年、年の瀬も迫った12月20日。当時、雨後のタケノコのように六甲背山に数多く発足した登山会の束役として発足した会・・・それが「神戸愛山協会」である。そして、その目的は「背山六甲山の愛護」と「毎日登山の奨励」であり、その具体的な活動とは山火事防止活動を含め、緑化の推進、山筋の清掃・補修、加えて、毎朝(毎日)登山の奨励である。



参加者に配布し説明した資料

愛山協会が101年の時を経て尚継承されているのは、神戸の生活文化「毎日登山」の継続のおかげで有り、背山六甲山を愛して止まない神戸市民の心意気に他ならない・・・と本稿を書いている最中に飛び込んだニュース、昨日起きた「長野県霧ヶ峰高原の山火事延焼拡大!」である。原因はこれからであろうが、自然を愛する人々にとって心の痛む大変ショッキングな出来事である。六甲山から元気を頂戴している我々としては、尚一層山火事防止の活動に力を入れようではないか!



須磨浦公園での朝礼風景

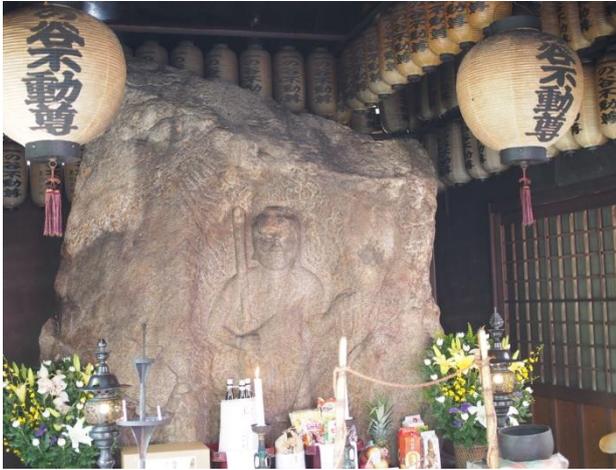
さて、神戸愛山協会の主たる行事は、新年を迎えた1月3日に行う「新年連合登山(すべての登山会とその会員各位が、1年間事故無く安全で楽しい登山が出来ることを祈願する)」そして5月4日に行う「みどりの日を歩こう!」である。昔は「山の祭り」と題し、個々の山筋で行っていた時代もあったが、途中で行わなくなってしまっていた。それではあまりに寂しいので、前会長のS氏からバトンを受け継いで、2年目から新たに設けたのが本行事である。今年はコロナ禍の年度を除き、早や10回目を迎えての「みどりの日を歩こう!」であった。



五月晴れに恵まれ、須磨の背山は緑に映えて!

山電須磨浦公園9時30分集合。1時間以上前に来てくれていた役員による手際良い準備のおかげで、大変スムーズに事が運んでいく。時間通り朝礼ご挨拶へ。参加された皆さんには、

記念タオル（愛山協会にて作成）、温泉入浴剤（神戸市消防局より提供）、そして説明資料の3点をお渡しし、登山の奨励と山火事に関するの注意喚起をお願いし、挨拶とした。



一の谷不動尊・潮音寺の魔磨崖仏（説明写真）

今回のコース設定は、旗振山登山連合会のリーダーである山内代表委員（妙見堂署名所）。須磨浦公園から東へ進み、源平一の谷合戦の古戦場として有名な場所に設けられている「潮音寺」を左に見て坂道を上る。この寺は、これから尋ねる平家ゆかりの大本山須磨寺の末寺で有り、北には有名な「鶴越の逆落し」として伝えられている場所（縦走路でおなじみの鉄拐山）の麓にあたる。



鉄拐山の山麓、閑寂な住宅街を進む

閑寂な住宅街を抜けると、須磨寺は間もなくである。ゴールデンウィークの中日ということもあり、寺は参拝者で大賑わい。小休止をさせ

ていただき、それぞれがお願い事？をする。



選定された黒松の美しい離宮道

美しく選定された離宮道を上っていくと間もなくゴールとなる「須磨離宮公園」である。



離宮公園内に入る参加者

11時過ぎ、予定通りのタイムでゴールし解散。それぞれのグループで、多種類のバラの花満開の園内と、懇親会を楽しまれたことでしょう。

最後になりましたが、歴史あるコースを設定して下さった旗振の山内代表氏とサポートしていただいた神戸愛山協会役員の皆さまに、心より御礼申し上げます。

天候 快晴 参加者 157名